

(宮崎県商工会議所連合会共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

(2005年7～9月期)

第38回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事：宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果（D I の推移）
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - （1）前期比（平成17年4～6月との比較）
 - （2）前年同期比（平成16年7～9月との比較）
 - （3）来期見通し（平成17年10～12月の見通し）
5. 業種別の景気動向
 - （1）製造業
 - （2）建設業
 - （3）卸売業
 - （4）小売業
 - （5）サービス業（飲食関連・観光関連を含む）
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	195社
回答率	39.0%
(業種別)	
製造業	67社
建設業	41社
卸売業	21社
小売業	32社
サービス業	34社
合計	195社

(2) 実施時期

平成17年7～9月期（平成17年10月に実施）

(3) 調査内容

調査対象1四半期について前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（含むパート）、設備投資計画、業況の各項目ごとに景況感を調査した。

(4) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(5) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答を返信用封筒及びファクシミリで返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所専門経営指導センターにインターネットを活用して返信し、集計分析を行った。

2. 調査結果 (D I)

D Iとは (景況判断指数) とは

D Iは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

売 上 D I = (増加回答の割合) - (減少回答の割合)

採 算 D I = (好転 ") - (悪化 ")

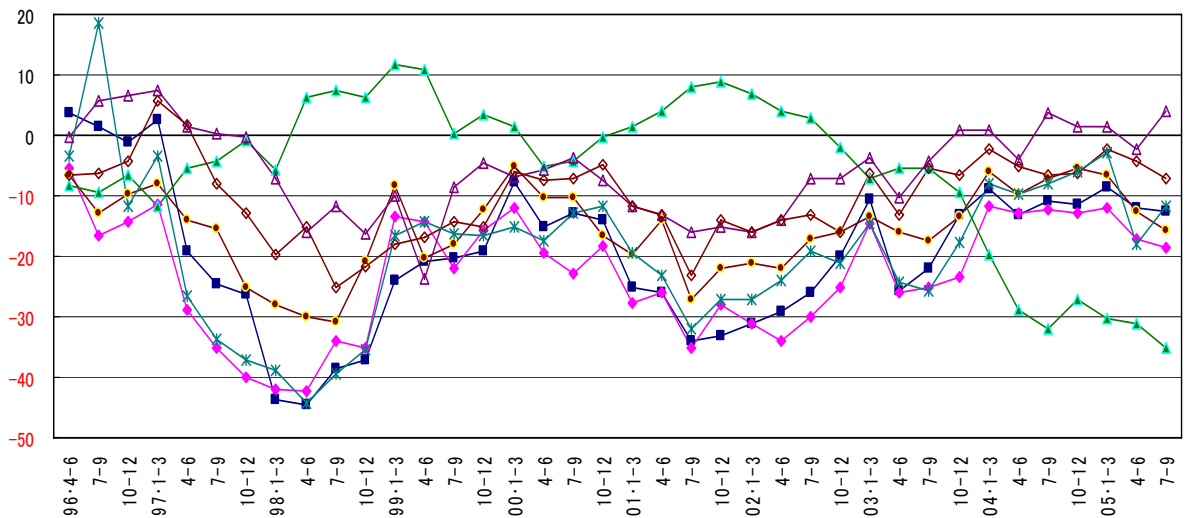
資金繰り D I = (好転 ") - (悪化 ")

仕入価格 D I = (下落 ") - (上昇 ")

雇用状況 D I = (不足 ") - (過剰 ")

設備投資 D I = (拡大 ") - (減少 ")

業 況 D I = (好転 ") - (悪化 ")



前年同期比 (全企業D Iの推移)

	03/1-3	4-6	7-9	10-12	04/1-3	4-6	7-9	10-12	05/1-3	4-6	7-9
■売上	-10.7	-25.6	-22.0	-13.1	-8.9	-13.2	-10.8	-11.3	-8.7	-12.1	-12.6
◆採算	-14.7	-26.0	-25.0	-23.4	-11.7	-12.8	-12.2	-12.7	-12.0	-17.2	-18.6
●資金繰り	-13.3	-16.1	-17.4	-13.5	-6.1	-9.6	-7.0	-5.4	-6.7	-12.6	-15.6
▲仕入価格	-7.1	-5.4	-5.5	-9.4	-19.7	-28.8	-31.9	-27.0	-30.3	-31.2	-35.2
△雇用状況	-3.6	-10.3	-4.2	0.8	0.9	-4.1	3.8	1.5	1.4	-2.3	4.0
◇設備投資	-6.2	-13.2	-5.5	-6.6	-2.3	-5.0	-6.6	-6.4	-2.4	-4.2	-7.0
*業況	-14.7	-24.4	-14.8	-17.6	-8.0	-9.6	-8.0	-5.9	-2.9	-18.1	-11.6

3. 概況

「一部では回復も全体では依然マイナス値」

(1) 今期の特徴

前期比のD I 値は、前期が年度末需要の反動で悪化したが、今回調査では改善をみせた。自動車関連業種（関連製造、販売、修理）が好調で、飲料関係の季節的要因により改善に寄与した。

前年同期比のD I 値は、前回調査とほぼ同じ水準。ただ、小売業で消費低迷・（大型店出店等を含む）厳しい競争は変わらず、建設業も公共事業縮小が響き、依然として業種の中ではマイナス幅が大きい。

(2) 来期の見通し

全体の数値でみると、D I 値は前回調査より改善した。製造業・卸売業が「急激な変化は見込めない」ながらも、全業種中比較的顕著な数値を示した。建設・小売業も前回調査からは改善しているが数値的にはまだ厳しく（マイナス幅が大きい）、本格回復という感じではない。一方では、サービス業のみ、悪化見通しが多かった。

コメントの中では聞かれたのは、原油高騰による仕入・経費アップで、企業側の不安がみてとれる。

(3) 経営上の問題点

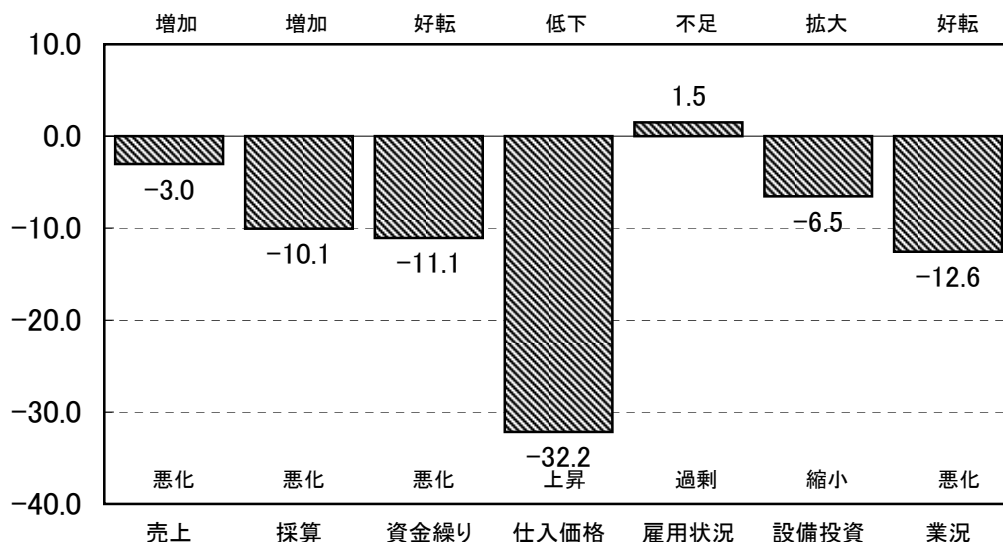
今回は上位の順位に変動はなく、やはり「需要の停滞」が圧倒的1位で、県内景気が本格回復になっていない模様。2位に「原材料価格の上昇」が浮上、3位に「製品（販売）単価の低下・上昇難」となっている。

(4) 今後の対応策

今回も、「新規市場を開拓したい」と「その他合理化を実施したい」が今後の対応策の二本柱。3位には前回同様に「人件費を削減したい」が続く。

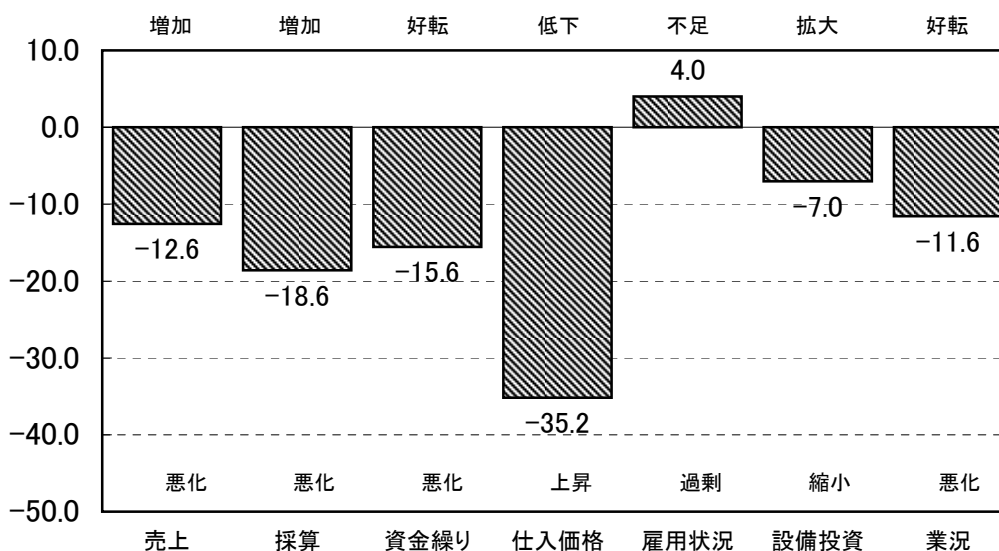
4. 県内の景気動向(全業種)

前期比(平成17年4～6月比)



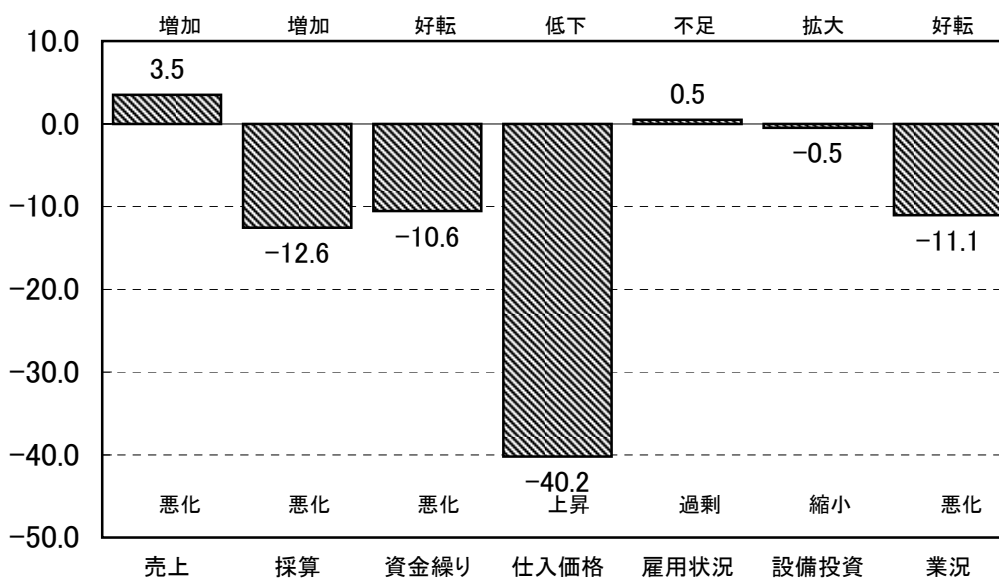
前期比D Iは、サービス業以外では前回数値よりも改善している。特に、自動車関連業種(関連製品製造、販売)が好調で、飲料関連も季節的要因により改善に寄与している。

前年比同期比(平成16年7～9月比)



前年同期比D Iは、前回調査とほぼ同じ数値。ただ、製造業・サービス業が建設・小売がそれぞれ公共事業の減少、大型店出店・競争激化により、厳しい数値となっている。

来期見通し(平成17年10～12月見通し)

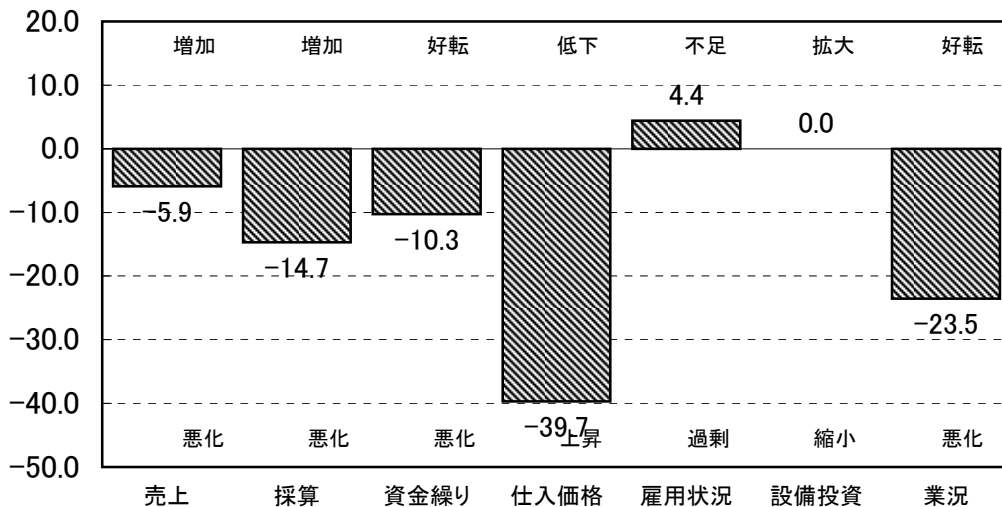


来期見通しD Iは、サービス業を除きおおむね改善しているが、小売業が依然として大きくマイナス。一方では、全ての業種において、原油価格高騰の影響で大きく悪化しており、企業側の不安が見て取れる。

5. 業種別の景気動向

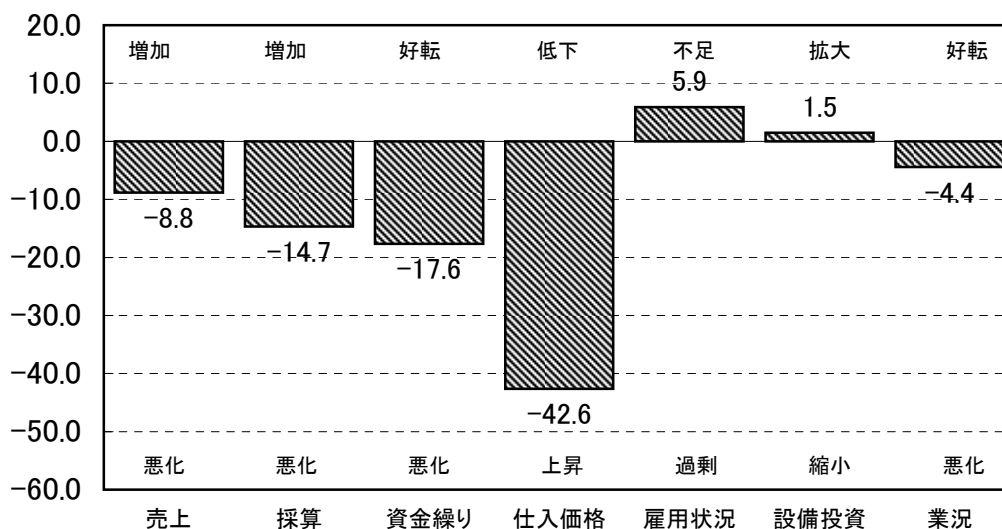
(1) 製造業

前期比(平成17年4～6月比)



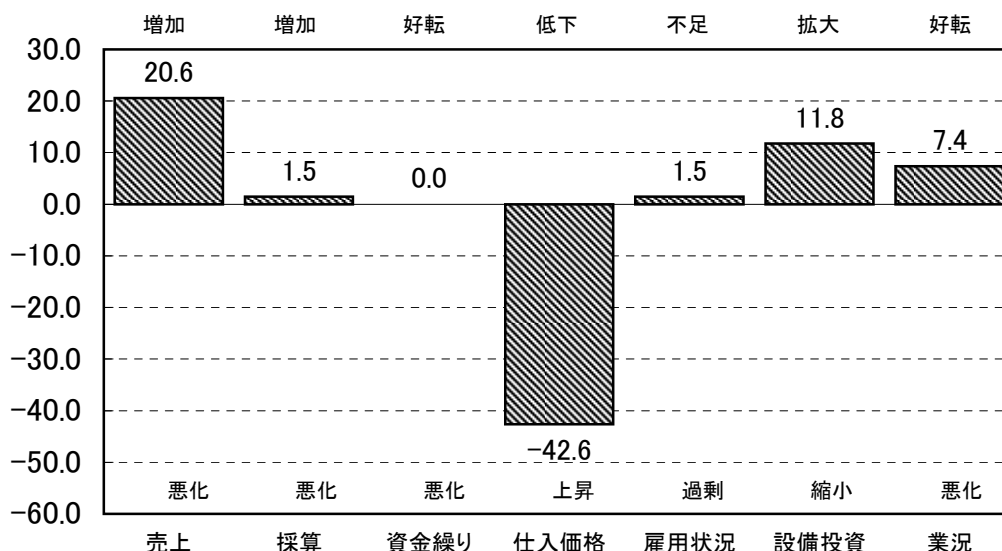
「公共投資の大幅減」(コンクリート)、「高齢化と人口減」(醤油・みそ)と構造的な要因を抱える業態があるも、「高水準」(タイヤ製造)、「エレクトロニクス医療が好調」(プラスチック金型)、「自動車及び関連企業が好調」(一般機械器具)で、売上はやや改善をみせた。

前年比同期比(平成16年7～9月比)



「競争激化で売上鈍化」(焼酎製造)、「需要の低下」(建築資材)、「民間事業も少ない」(コンクリート製品)など、悲観的な声もあるが、「前年よりは好転」、「高水準で不変」、「工作機械メーカーの好況」と前期比DI値は好転をみせた。

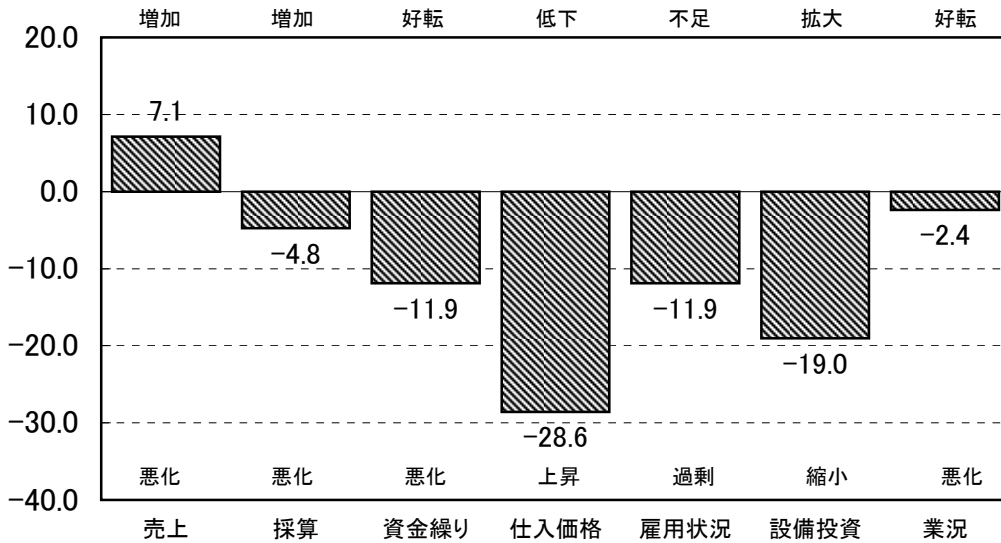
来期見通し(平成17年10～12月見通し)



「住宅着工数が下げ止まらず」、「急激な変化は期待できない」等の弱含みの声があるが、「年度末に向けての需要」に期待してか、売上・業況のDIはプラスに転じた。反面、原油価格高騰による仕入価格の悪化が目立った。

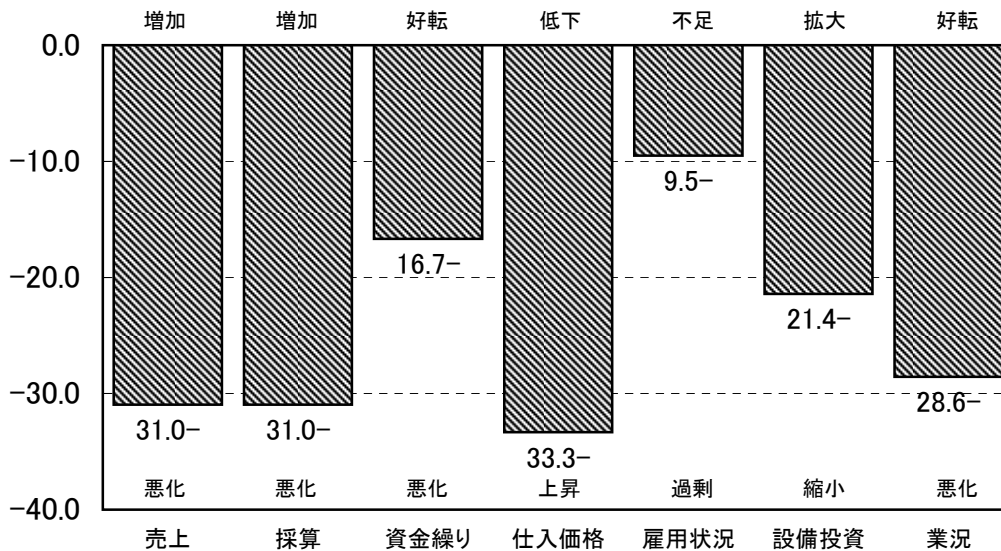
(2) 建設業

前期比(平成17年4～6月比)



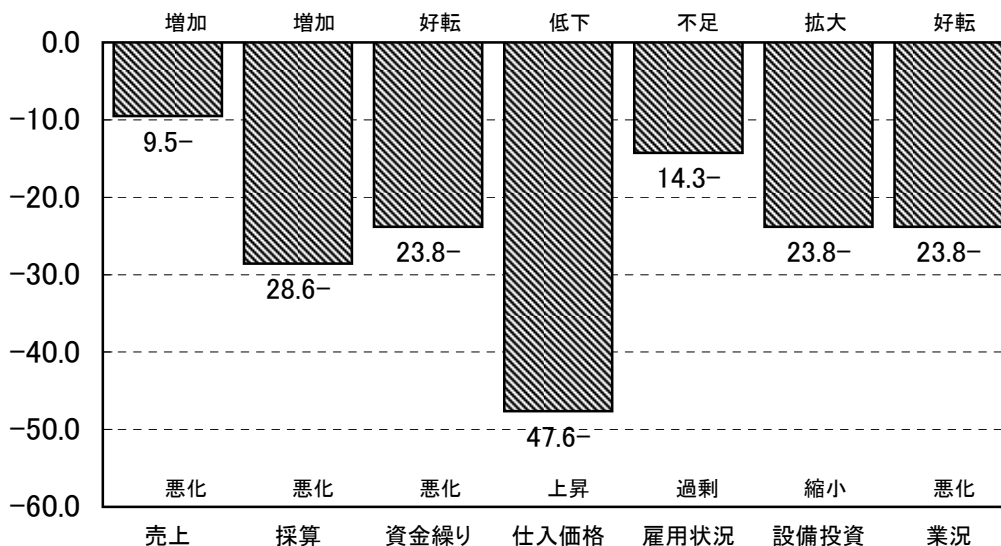
依然として「受注減」をなげく建設・土木業もみられるが、前期が年度初めで発注が少なかったことや台風の復旧工事で前期比DIは改善をみせた。一方、「好転とまではいかない」というコメントが多かった。

前年比同期比(平成16年7～9月比)



「適正受注ができた」との企業もあったが、「需要の停滞」、「大きな変化はない」、「受注減」は変わらず、依然として大きなDI値のマイナス幅が続いている。

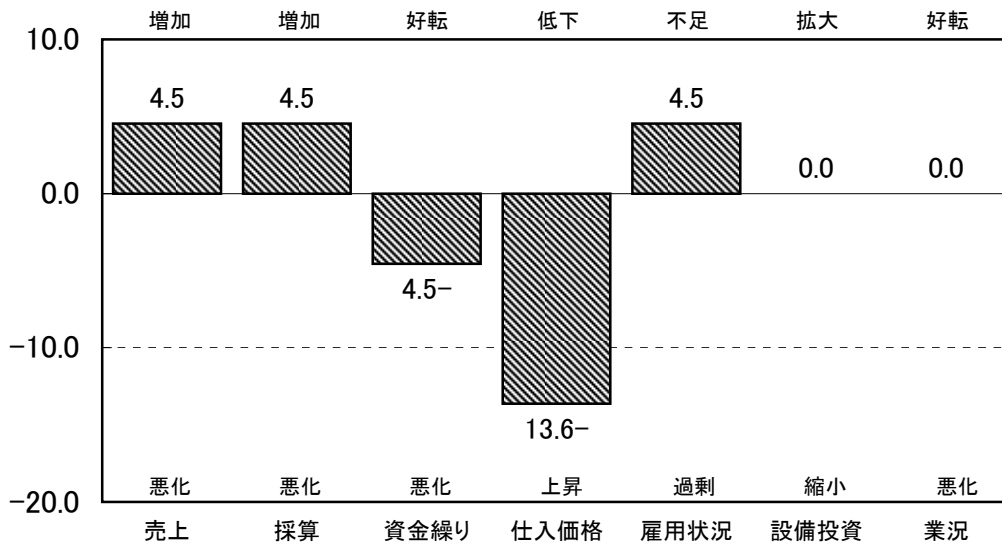
来期見通し(平成17年10～12月見通し)



「前年同期がよかった反動」、「受注見通しが立ちにくい」、「あまり変化なし」等好転を示すコメントは少ない。売上DIは前回調査より改善しているが、逆に業況は悪化をみせ、暗中模索状態。

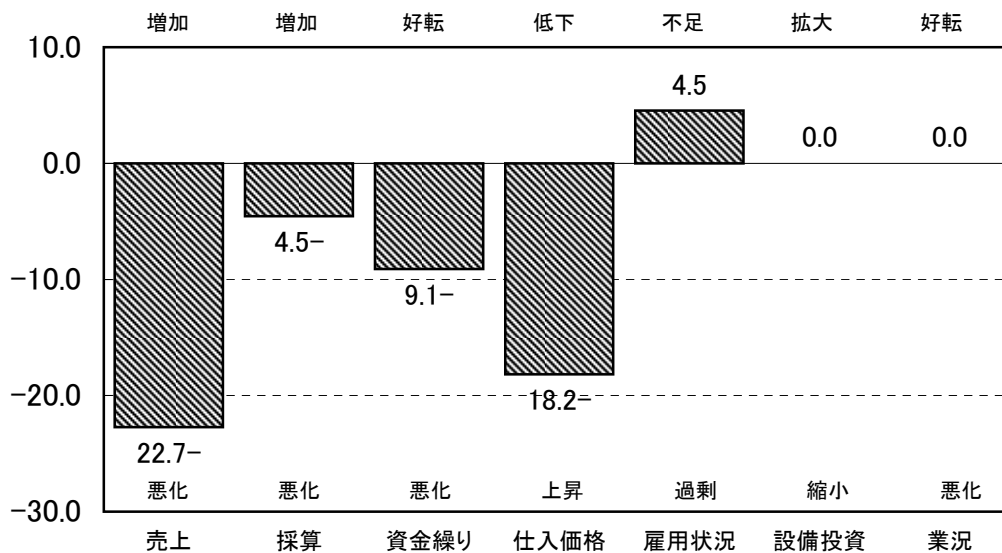
(3) 卸売業

前期比(平成17年4～6月比)



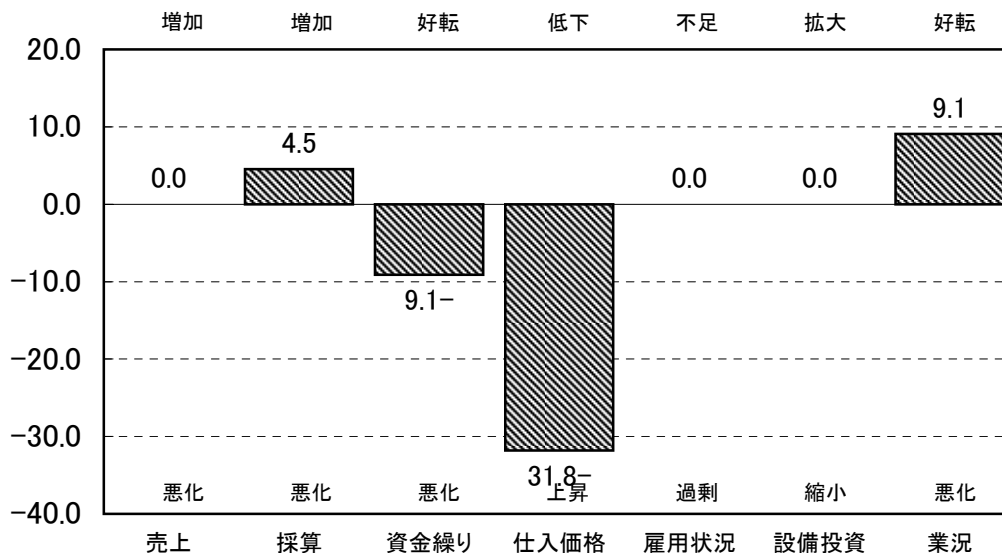
「大幅な単価安」(青果)、「大型店進出の影響」(日南)と苦しんでいる企業があるが、「季節的要因」(飲料関係)、「ブーム一段落も上乗せできる」(焼酎)等、前期比でDIは改善をみせた。

前年比同期比(平成16年7～9月比)



「動きはあるが価格が高騰」(建築資材)、「得意先がなくなり売上減」(食料品卸)と前期比ではDIは改善したが、前年同期比では悪化。迷走状態か。

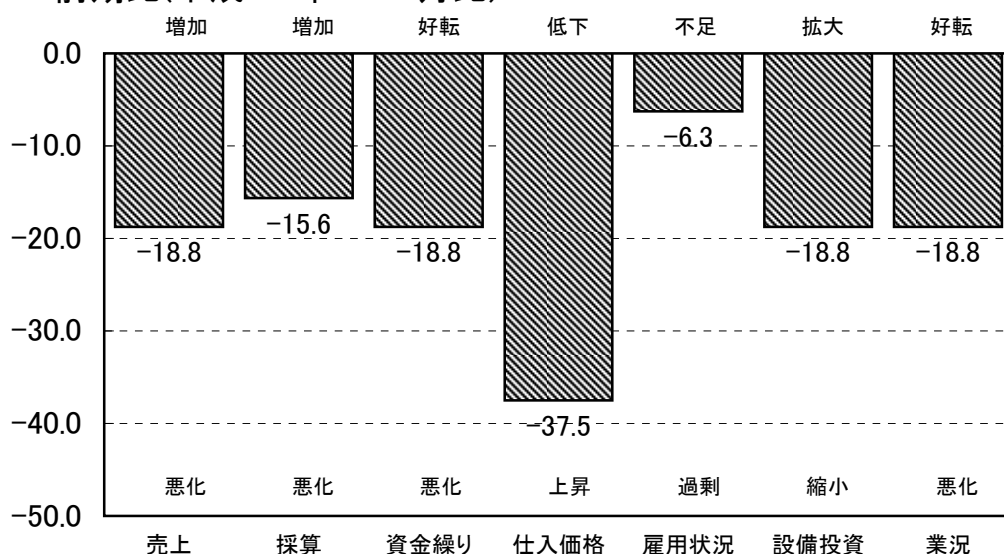
来期見通し(平成17年10～12月見通し)



「大型点進出の影響」、「単価のダウン」(青果)の悪影響があるものの、「年度末に向けて売上高が上がる」(機械工具)、「県外での新事業展開」(建築資材)、年末へ向けての期待の表れか、来期見通しDIは改善した。

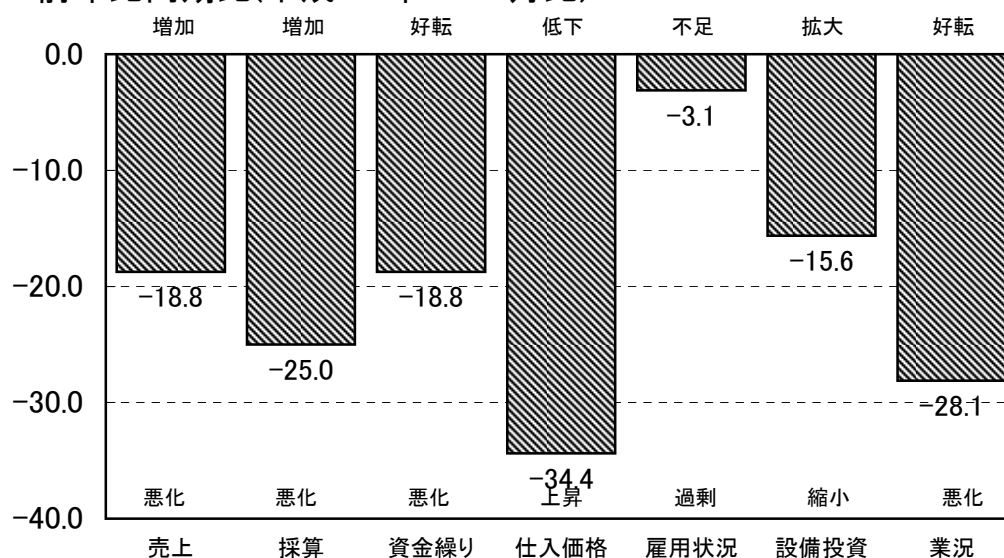
(4) 小売業

前期比(平成17年4～6月比)



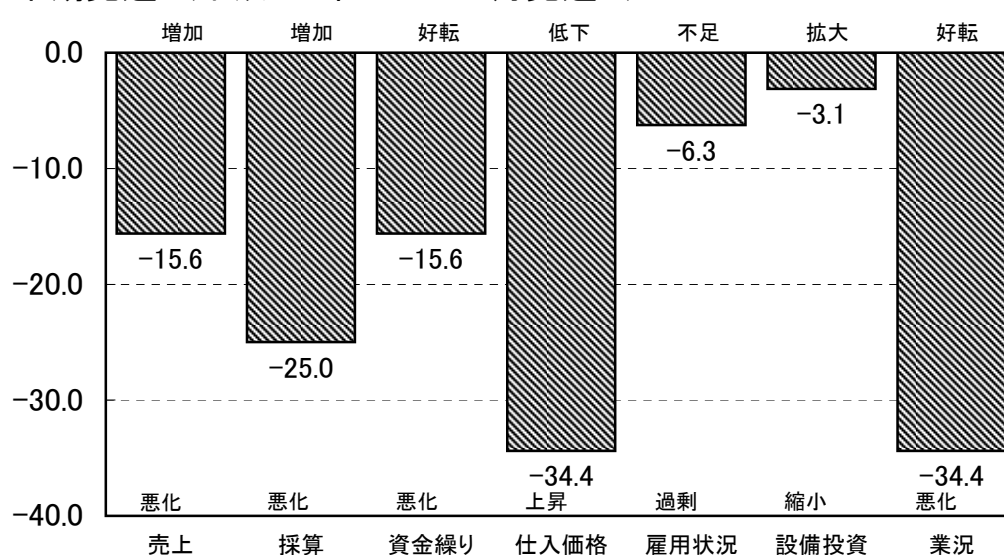
「大型店進出により大幅悪化」(総合小売)、「仕入価格の高騰」(燃料、プロパン、ガソリン)が響いているが、「市町村合併に伴う特需」(コンピュータソフト)、「売上好調」(自動車、自動車整備)等好調な業態に引っ張られ、前回調査よりDI好転するも依然としてマイナス。

前年比同期比(平成16年7～9月比)



「台風災害による車両入れ替え」(自動車販売)等好調な業態があるものの、大型店出店による競争激化もあり、DI値は前回調査とほぼ変わらず、まだ本格回復には至っていない。

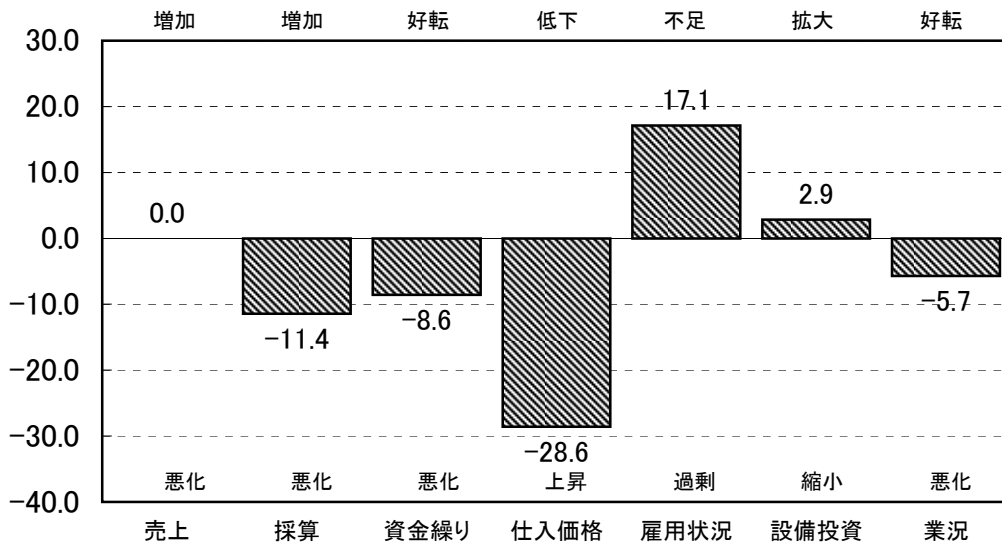
来期見通し(平成17年10～12月見通し)



需要の減少、大型店出店等をなげく声も聞かれるが、好調な自動車販売、市町村合併による特需期待があり、前回調査より回復。ただ、DI値自体は依然マイナスで、原油価格高騰により仕入は悪化している。

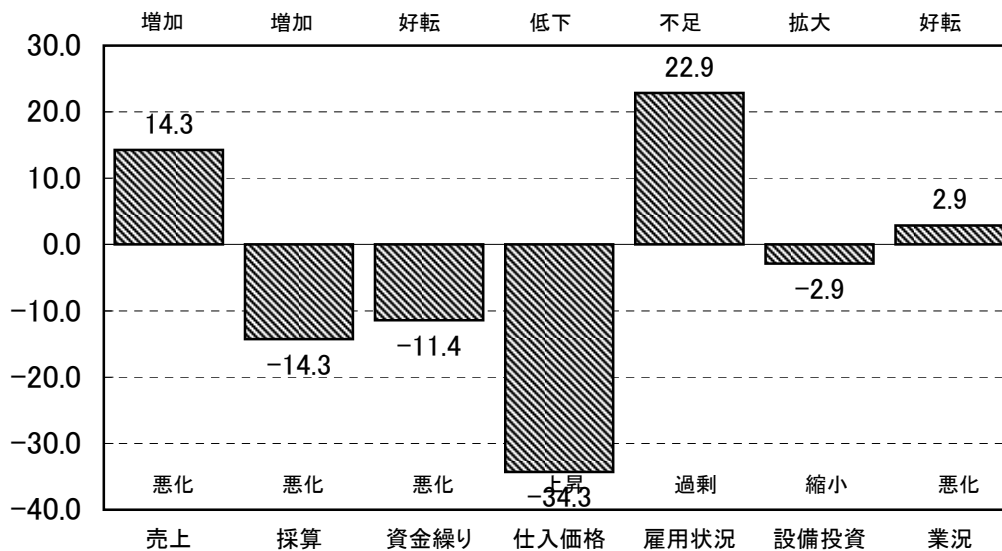
(5) サービス業(飲食関連・観光関連を含む)

前期比(平成17年4~6月比)



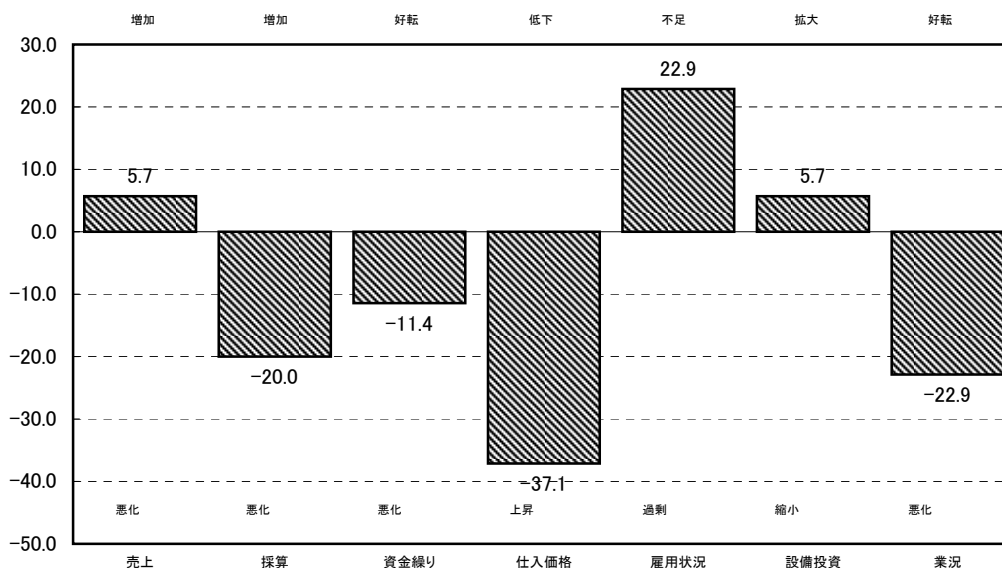
一部では「売上増加」(警備保障)、(建築設計)、反面、大型SC出店による影響へのコメントが大きい。数値的には以前に比べだいぶ良くなったが、まだ不安定な状況である。

前年比同期比(平成16年7~9月比)



原油価格の高騰の影響で、運輸業・タクシー業界が厳しい。旅館・宿泊が前年より回復をみせた。DI値は仕入価格が大幅に悪化したものの、売上・業況とも前回調査より改善した。

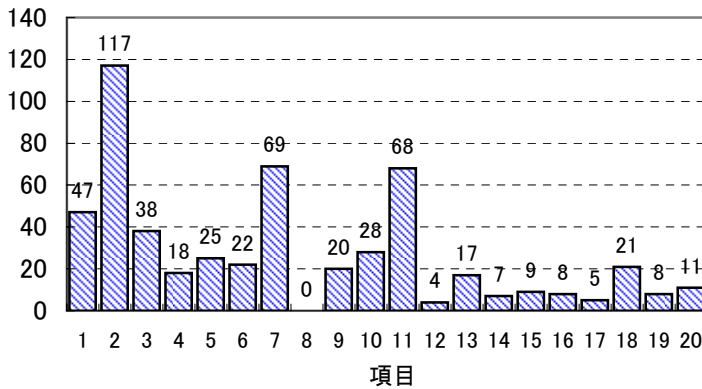
来期見通し(平成17年10~12月見通し)



「景気低迷に底打ち」(コンピュータ販売)、「秋の行楽シーズン」(宿泊)と期待感。一方では、原油価格高騰の影響で、運輸・運送関係が厳しい。DI値自体は前回調査を下回り、特に仕入価格が悪化を見せている

6. 経営上の問題点

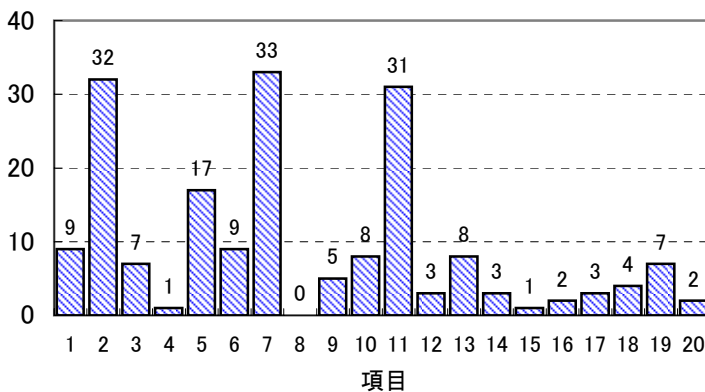
全業種



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 県内大手企業の事業展開による競争の激化

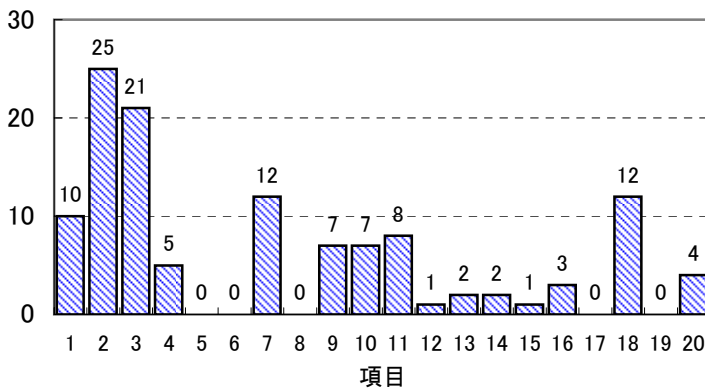
製造業



順位

- 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 2位 需要の停滞
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 生産設備の不足・老朽化
- 5位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 5位 製品ニーズの変化

建設業



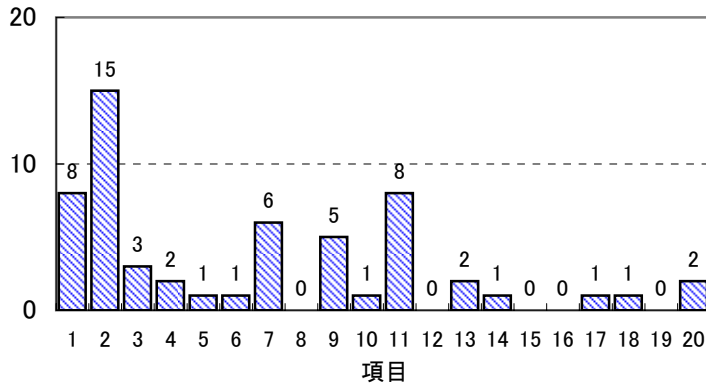
順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県内大手企業の事業展開による競争の激化
- 3位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 取引条件の悪化
- 5位 県外大手企業の進出による競争の激化

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

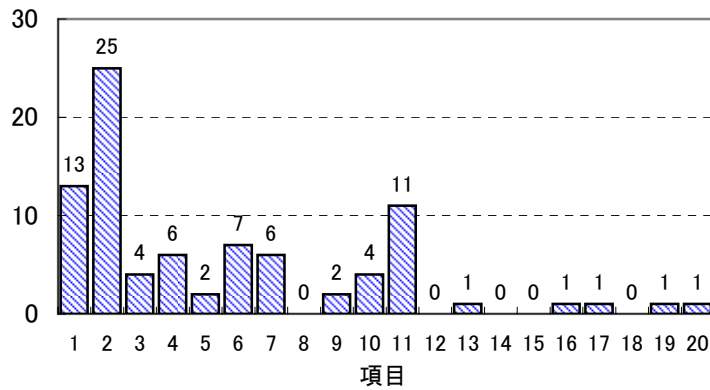
卸売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 5位 原材料・人件費以外の経費の増加

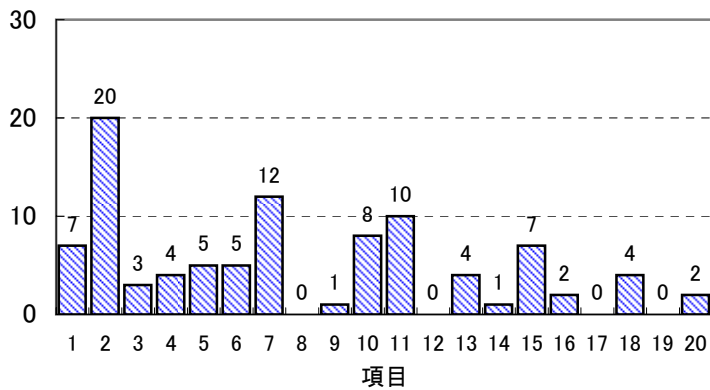
小売業



順位

- 1位 需要の停滞
- 2位 県外大手企業の進出による競争の激化
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 製品ニーズの変化
- 5位 新規参入業者の増加

サービス業



順位

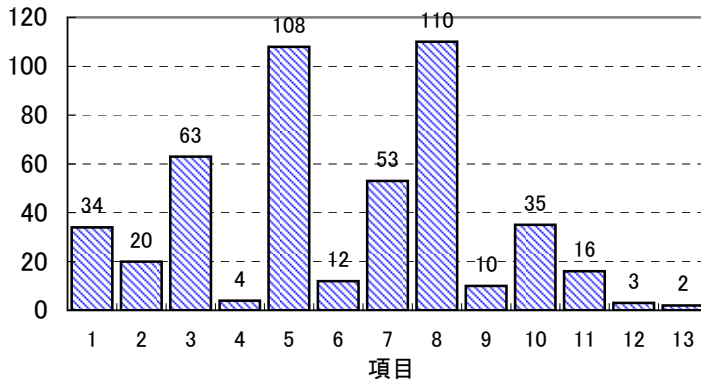
- 1位 需要の停滞
- 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
- 3位 製品(販売)単価の低下・上昇難
- 4位 人件費の増加
- 5位 県外大手企業の進出による競争の激化

項目一覧

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策

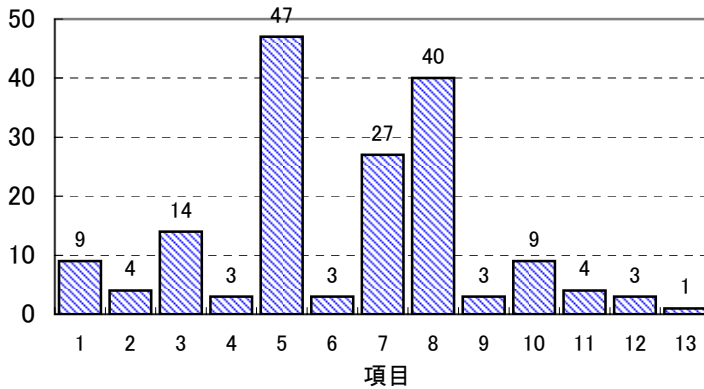
全業種



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 経営の多角化を行いたい

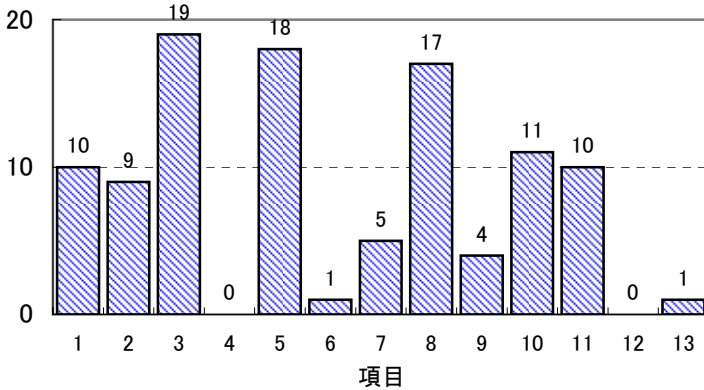
製造業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 新規市場を開拓したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 新規採用を見合わせたい

建設業



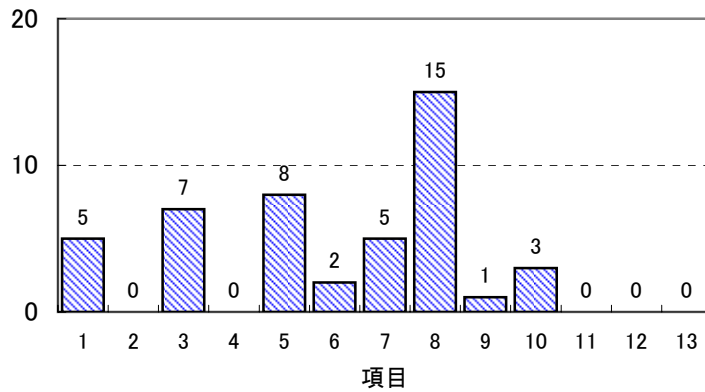
順位

- 1位 人件費を削減したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新規市場を開拓したい
- 4位 経営の多角化を行いたい
- 5位 新規採用を見合わせたい

項目一覧

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く） |
| 3. 人件費を削減したい | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | |
| 6. 設備投資を縮小したい | 7. 新製品の開発を行いたい |
| 8. 新規市場を開拓したい | 9. 業種転換を行いたい |
| 10. 経営の多角化を行いたい | 11. 下請け発注を減らしたい |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい | 13. 海外から原料・部品を調達したい |

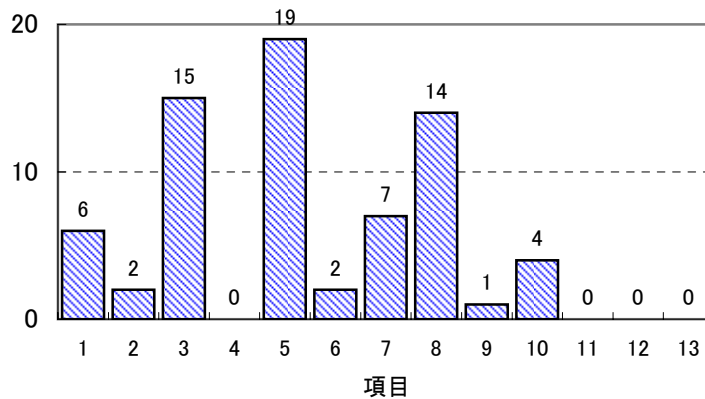
卸売業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 人件費を削減したい
- 4位 新規採用を見合わせたい
- 5位 新製品の開発を行いたい

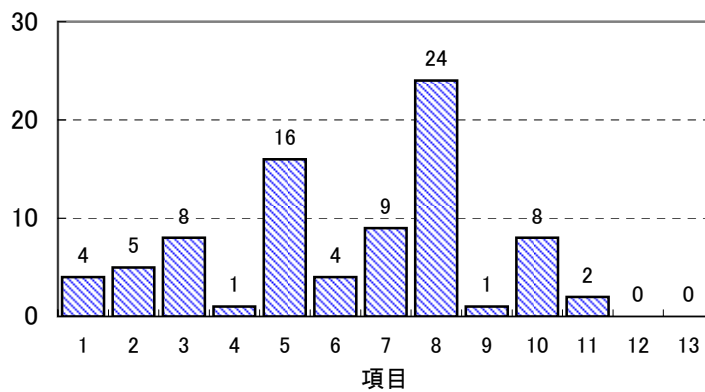
小売業



順位

- 1位 その他の合理化を実施したい
- 2位 人件費を削減したい
- 3位 新規市場を開拓したい
- 4位 新製品の開発を行いたい
- 5位 新規採用を見合わせたい

サービス業



順位

- 1位 新規市場を開拓したい
- 2位 その他の合理化を実施したい
- 3位 新製品の開発を行いたい
- 4位 人件費を削減したい
- 5位 経営の多角化を行いたい

項目一覧

- | | |
|------------------------------|----------------------|
| 1. 新規採用を見合わせたい | 2. 雇用調整を行いたい（1を除く） |
| 3. 人件費を削減したい | 4. 生産調整を行いたい（操業短縮など） |
| 5. その他の合理化を実施したい（製造工程の簡素化など） | |
| 6. 設備投資を縮小したい | 7. 新製品の開発を行いたい |
| 8. 新規市場を開拓したい | 9. 業種転換を行いたい |
| 10. 経営の多角化を行いたい | 11. 下請け発注を減らしたい |
| 12. 海外へ生産拠点を移したい | 13. 海外から原料・部品を調達したい |

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	略名	国県への要望
製造業	製材・チップ	都城	国産材(杉)消費拡大推進。
製造業	製材業	都城	国はじめ各種行政法人の問題を早期に解決して減税の実施、ならびに努力したものがむくわれる公正な政治を行っていただきたい。
製造業	酸素等の高圧ガス製造	宮崎	元気産業(自動車、IT関連)の生産、流通工場の地元誘致
製造業	清涼飲料水製造	宮崎	消費者のニーズに合わせた商品を早く市場に出し、効果的な販促を行うことが課題である。
製造業	木工所	延岡	好況時より、業績は大幅に削減しここ数年低め安定である。今後、経済状況が上向きになっても、地方の大部分の業種が好況時の水準で回復するとは思えない。特に贈答品用木箱製造業は包装資材に対する特需の変化及び贈答品の縮小廃止の傾向が定着している。兼業他業種、系列企業への事業転換等で業績の維持及び従業員の配転をして企業の存続に努力をしている。
製造業	化学品製造	延岡	自助努力の不足を痛感
製造業	食品工業	日向	輸入豚肉に対しての関税引き下げ。
製造業	木材	日向	構造改革の名の元に現業部門(現場)の予算を削って運営する団体の職員を厚く維持しても近い将来大変な事になる。中山間地のビジネスチャンスの少ない地域を守る。
製造業	タイヤコード製造1	日向	法遵守に対し、国家免許取得を県内で受験できるようにしてほしい。例えば、大気、水質、騒音、エネルギー管理者等、又バランスを考え、回数を増やしてほしい。
製造業	金属加工業	日南	ユーザー・メーカー・生産者が暦通りに動いている為、忙しい時は全て一緒になっている我々製造業にとっては納期が重なって調整するのが難しい。2極化現象がますますひどくなって来ているように感じます。
製造業	紙・パルプ製造	日南	原燃料価格の高騰でコストは上昇、輸入紙の圧力で売価への転嫁が困難な状況にあるが、言い訳を言っても始まらない、自助努力で切り抜けるしかないが、今年4月から施行された産廃税の廃止の検討、国レベルでは今後浮上する環境税の取りやめ他、緩やかに回復しつつある景気を冷やさないような施策、例えば減税等が必要ではないか。
製造業	コンクリート製品	日南	県内における公共事業は減少しており、特に当社で生産する資材(製品)は需要が激減している。かろうじて県央、県北、鹿児島県へ販売しており工場を維持している状態。こうした地元での少ない需要状況の中でも県外や地区外から安い製品が流入している。地場産業の育成、地元産品愛用は掛け声ばかりで実効が挙がっていないような気がする。
製造業	自動車専用部品製造	日南	1.海外輸出の物流コスト等を考えると海外の生産拠点を推進している。2.人材育成を早急に進める必要がある。各階層別の教育が必要。場所・人・金の援助をお願いします。
製造業	各種印刷	小林	景況調査のあり方について現在企業の売上で判断しているが、各家庭の消費額での判断を知りたい(買い物調査など)
製造業	焼酎製造販売	串間	「地産地消」地元産(赤芋)を使用した本格焼酎から全国市場での宣伝・支援をお願いしたい。
製造業	産業用CCDビデオカメラ製造	串間	弊社グループの製品戦略、営業戦略に依る所が大きい。国、県に対する希望は特にない。
建設業	建設業	都城	公共工事費の増加
建設業	生コン製造 建設業	宮崎	景気回復が叫ばれて、もう随分長い。具体的な対策が何も打たれていない。大減税とか大幅な年金給付額の増額とか、思い切った目に見える政策はとれないものだろうか

建設業	電気設備工事	宮崎	県外資本に対する誘致策としての条件緩和(農地転用等)が行われていますが、県内企業等による投資に対しては条件緩和がされず不公平である。また、県外資本による県内資金が吸い上げられており、県内循環型の経済ではなく好況感がない。
建設業	建築工事業	宮崎	三位一体の名の下に国庫補助事業のみならず地方単独事業が損なわれないよう地方自治体の財源確保のための施策を講じて欲しい。公共事業の品質向上のために適正価格での受注が図られるよう配慮していただき地方自治体におけるダンピング、不良不適価格業者の排除のために実効ある措置を講じて欲しい
建設業	土木建築工事請負	宮崎	先の台風14号によってとりわけ山間部や河川沿いではライフラインに大きな被害を受けたが、被災地における交通網の復旧や抜本的な治山・治水事業を早急に予算化して実施して欲しい
建設業	建設業	延岡	不況の時代。国、県市町村とも税収が伸びない。ひいては公共投資の予算等の縮小、減額と悪い流れになっている。早く好景気にならないと…。
建設業	建設業	日向	災害工事の発注を早急に実施してもらいたい。
建設業	電気工事業	高鍋	人件費及び福利厚生費等に見合う経費を十分確保したい。もっと市町村合併を進めて経済、行政等の規模の拡大を考えてほしい。
卸売業	建築資材	都城	消費税アップが追い討ちになり、更なる景気の動向等、厳しい局面をむかえるのではと考えてます。
卸売業	塗料販売	宮崎	原油高の抑制策
卸売業	建設資材販売施工	延岡	政府は外国支援(ODA、イラク支援)より国内支援を。
卸売業	青果卸	日南	生産者の直売店が各所にできたため、入荷が激減し、影響がかなりあります。
卸売業	青果物卸	小林	国内に無い青果物は輸入しても、国内にある青果物は輸入できないようにして欲しい。
卸売業	焼酎製造業	小林	行政による地方の景気対策を十分に行うこと
小売業	米穀・酒類販売	宮崎	イオン進出で一極集中型に今はなっているが、バランスのいい街づくりを進めて欲しい。リタイヤ組に魅力のある街にして人口が増えるようリタイヤランドを整備していただきたい。
小売業	自動車等の販売と整備	宮崎	公共事業の予算が年々削減されている中、今回水害に見られるように、起きた後の補正より、予測される予算化をお願いしたい。
小売業	総合小売業	宮崎	企業の誘致を積極的に行い活性化して欲しい
小売業	総合食料品スーパー	日向	特にございません。
小売業	建築木材製品販売	日向	Aクラスの建設業が下請けの(自社を含めて)Aクラスに出す見積もり単価が安すぎて、仕入原価を割ってしまい赤字になる。元請が儲かるシステムになっている。我々木材業界を分離発注をお願いしたい。
小売業	ガソリンスタンド	日南	構造改革の前に景気対策が先決ではないかと思います。
小売業	新聞販売	串間	Uターンを希望する人々に対して環境を良くして貰いたい。
サービス業	道路貨物運送業	都城	燃料の高騰を運賃に転嫁できないので税の軽減を望む。
サービス業	貨物運送業	都城	原油価格の上昇を押さえて欲しい
サービス業	運送業	都城	軽油引取税暫定税率7円80銭の撤廃
サービス業	曳船事業ポートサービス	宮崎	燃料の高騰による運賃見直しについて、荷主に理解して欲しい
サービス業	宿泊宴会会議等	宮崎	原油高でボイラー用重油、ガソリン、石油製品等が値上がりしているが、価格転嫁できない。非常に困っている

サービス業 旅館業	宮崎 景気対策に関して国も県も何ら具体的な方法論を示さず、模様眺めの状況で進んでいるように思えます。とにかく、目に見える形で特に中小企業が元気を取り戻せる対策を講じていただきたい。行政が動かなければ現状では民間は活力を失ったままです。
サービス業 クリーニング業	延岡 相変わらず景況は厳しい。行政の景気対策等にも期待はしていない。合併問題か公共投資の減少等。地方にとって本当に厳しいときであるからこそ、延岡の浮揚を強いリーダーシップで引っ張るリーダーが必要ではないのか。
サービス業 ホテル業	延岡 宮崎市のように行政が積極的に誘致活動に取り組み施設の整備も同時進行で、各スポーツ、イベントの開催が出来るように環境を作る。市民の声にもっと耳を傾ける必要有。
サービス業 レストラン	高鍋 町外からのお客様が多く来るような観光、スポーツ、イベント等計画する。一年を通して
サービス業 警備保障	日南 行政の毎年入札時で設備投資を必要とする物件は予算を設定していただきたい。赤字になる物件もある
サービス業 運送業	日南 原油が高騰した分売上に転じられない。原油高騰がなんとか止まってよくなるといいと思う
サービス業 タクシー業	小林 地方の商業と町の活性化が出来る制度と法整備を願います。